

最上川水系最上川(下流) 国管理河川の浸水想定図【中長期】(1/150降雨規模)

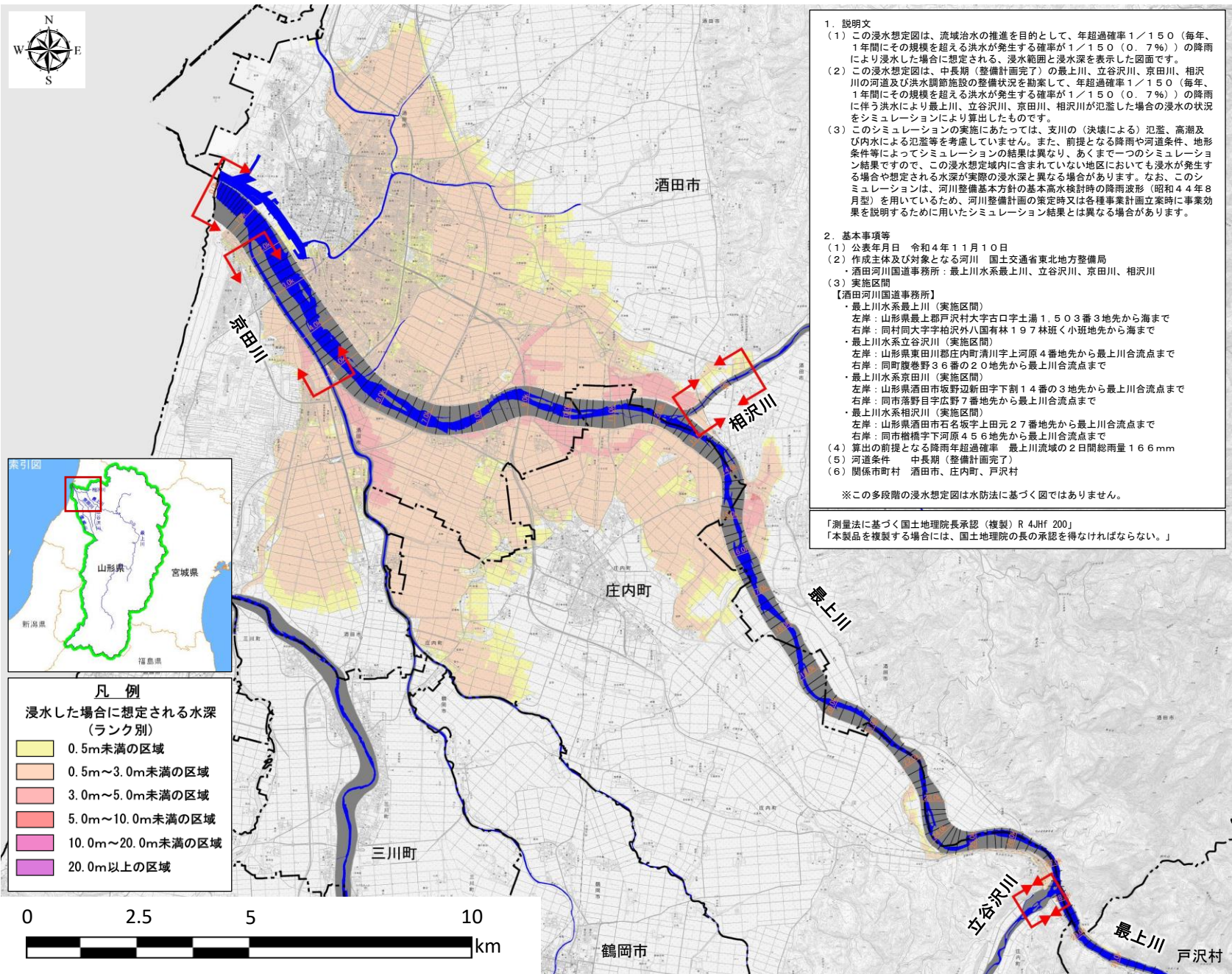
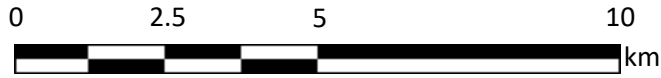
中長期



凡例

浸水した場合に想定される水深
(ランク別)

| | |
|--|------------------|
| | 0.5m未満の区域 |
| | 0.5m~3.0m未満の区域 |
| | 3.0m~5.0m未満の区域 |
| | 5.0m~10.0m未満の区域 |
| | 10.0m~20.0m未満の区域 |
| | 20.0m以上の区域 |



1. 説明文

- (1) この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/150(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150(0.7%)の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。
- (2) この浸水想定図は、中長期(整備計画完了)の最上川、立谷沢川、京田川、相沢川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/150(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150(0.7%)の降雨に伴う洪水により最上川、立谷沢川、京田川、相沢川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
- (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定域内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和44年8月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2. 基本事項等

- (1) 公表年月日 令和4年11月10日
- (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省東北地方整備局
酒田河川国道事務所：最上川水系最上川、立谷沢川、京田川、相沢川
- (3) 実施区間
【酒田河川国道事務所】
・最上川水系最上川(実施区間)
左岸：山形県最上郡戸沢村大字古口土湯1,503番3地先から海まで
右岸：同村同大字柗沢外八国有林197林班く小班地先から海まで
・最上川水系立谷沢川(実施区間)
左岸：山形県東田川郡庄内町清川字上河原4番地先から最上川合流点まで
右岸：同町復巻野36番の20地先から最上川合流点まで
・最上川水系京田川(実施区間)
左岸：山形県酒田市坂野辺新田字下割14番の3地先から最上川合流点まで
右岸：同市落野目字広野7番地先から最上川合流点まで
・最上川水系相沢川(実施区間)
左岸：山形県酒田市石名坂字上田元27番地先から最上川合流点まで
右岸：同市檜橋字下河原456地先から最上川合流点まで
- (4) 算出の前提となる降雨年超過確率 最上川流域の2日間総雨量166mm
- (5) 河道条件 中長期(整備計画完了)
- (6) 関係市町村 酒田市、庄内町、戸沢村

※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。

「測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R 4.Jhf 200」
「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。」